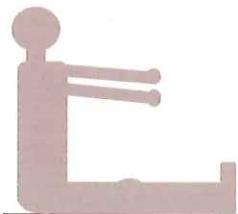
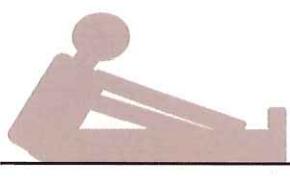
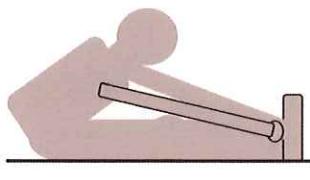
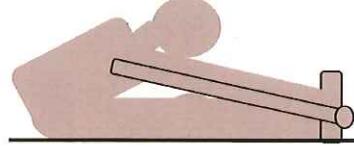
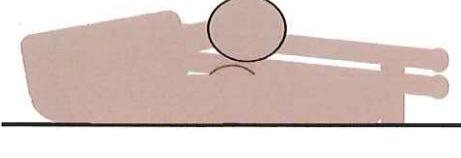
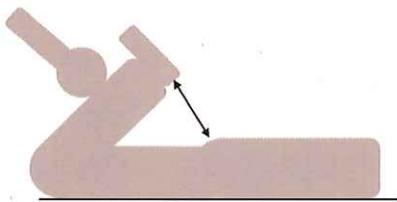


| | |
|--|--|
| ●運動適性テスト コンディショニングチェック | 実施日： 年 月 日 |
| 氏名：_____ 性別：男・女 年齢：_____ 歳 身長：_____ cm 体重：_____ kg | |
| このコンディショニングチェックはスポーツによるケガを予防することを目的に、(1)柔軟性と(2)筋力の状態(コンディション)を確認するものです。このコンディショニングチェックを日常的に行い、今の自分の身体の状態を知り、自分の身体をより良い状態にする努力をしてケガを防ぎましょう。 | |
| 1. 肩周囲の筋肉の柔軟性を確認するテスト | |
| ○方法 |  左腕が上  右腕が上 |
| ○評価方法 | <ol style="list-style-type: none">1) 背筋をのばし、片方の腕を上から、もう一方の腕を下から背中へまわし、肘を曲げる。2) 背骨にそって両手を近づけ、左右の中指がふれるように近づける3) 肩周辺に痛みを感じたり、これ以上近づけられないところで止め、手が組めるかを確認する。4) 右腕、左腕を入れ替えて同じ動作を行う。 |
| ○結果 | 左腕が上 (_____) 右腕が上 (_____) ←手が組めれば○、組めなければ×を記入 |
| 2. 腰や背中、太ももの裏側の筋肉の柔軟性を確認するテスト | |
| ○方法 |  <ol style="list-style-type: none">1) 実施者は膝を伸ばして座り、腕を真っ直ぐ身体の前に伸ばす。2) 肘は曲げずに胸を太ももに近づけるように上体を倒す。3) 肘、膝が曲がらないようにする。 |
| ○評価方法 |  ①手で、膝から足首までの間を触ることができる  ②両手で、足首をつかむことができる  ③両手で足の裏を触ることができる  ④あごが膝につく。 |
| ○結果 | (_____) ← 結果を①～④から選んで記入 |

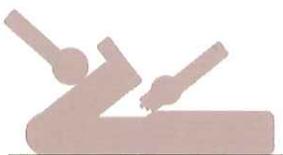
3. 太ももの前側の筋肉の柔軟性を確認するテスト。

○方法



- 1) 実施者はうつ伏せになり、片方の脚の膝を曲げる。
- 2) 補助者は、実施者のすねのあたりを持ち、かかとをお尻に近づけるように押す。
- 3) 補助者は反対の手で「かかと」と「お尻」の間に手を入れ距離を測定する。
- 4) 実施者は、力を抜き、お腹や股関節、膝が床から浮かないようにする。

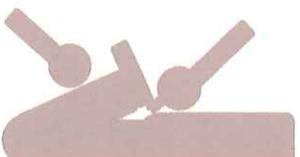
○評価方法



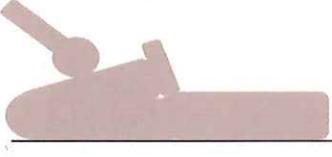
①「かかと」と「お尻」が人差し指～小指までの指4本分以上離れている



② 人差し指～小指までの指4本分（握りこぶし1分）程度離れている



③ 人差し指と中指の指2本分程度に近づく

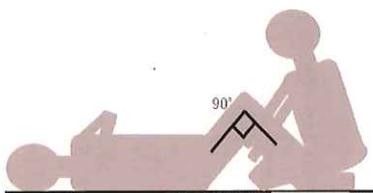


④ 「かかと」と「お尻」を付けることができる。

○結果 左脚 _____ 右脚 _____ ← 結果を①～④から選んで記入

4. 腰やお腹の筋肉の強さ（筋力）を確認するテスト

○方法

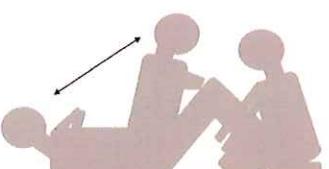


- 1) 床の上で仰向けになり、両膝を約90° 曲げる。
- 2) 膝の角度を変えずに、反動を付けず上体を起こす。
- 3) 上体を起こした後は背中(肩甲骨)が床につくまで上体を倒す。
- 4) この動作を繰り返す。

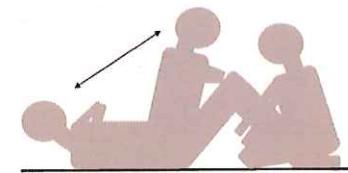
○評価方法



①肘で膝を触ることができない。



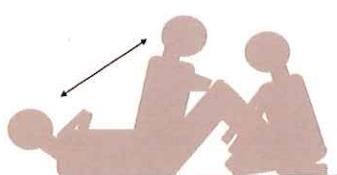
② 腕を胸の前で組み、肘で1回～12回膝を触れることがある。



③ 腕を胸の前で組み、肘で13回～18回膝を触れることがある。



④ 腕を胸の前で組み、肘で19回～24回膝を触れることがある。

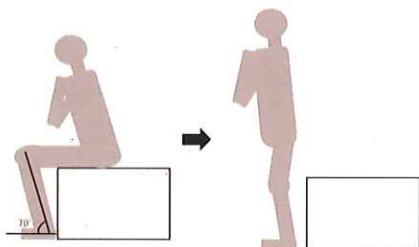


⑤ 腕を胸の前で組み、肘で25回以上膝を触れることがある。

○結果 _____ ← 結果を①～⑤から選んで記入

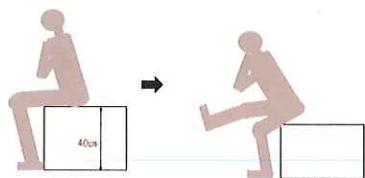
5. 太ももやお尻の筋肉の強さ（筋力）を確認するテスト。

○方法

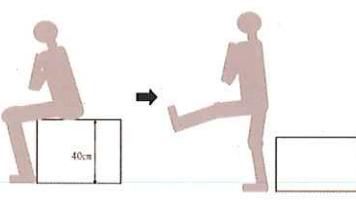


- 1) すねの角度が床に対して約70度となるように台に腰かけ、手を胸の前で組み軽く体をかがめる。
- 2) 可能な限り反動を使わずに立ち上がる
- 3) 立ち上がったまま姿勢を3秒間保持する。

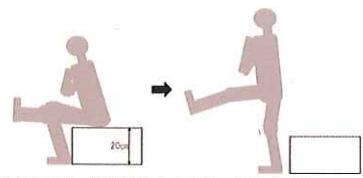
○評価方法



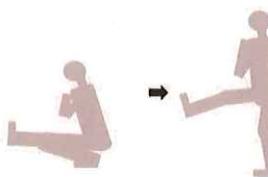
①30cmほどの台から、片脚で立ち上がることができない。



②30cmほどの台から、片脚で立ち上がることができる。



③20cmほどの台から、片脚で立ち上がることができる。



④台なしで片足でその場でしゃがみ込んだ状態から、立ち上がることができる。

○結果

左脚 ()

右脚 ()

← 結果を①～④から選んで記入